

てんとうむし



12月のテントウムシは、枯葉の上で日向ぼっこ



ハラグロオオテントウ

触ると足の関節から嫌な臭いの黄色い汁を出す 鳥などに食べられないため自分で自分の身を守っています

近所で見つけたハラグロオオテントウ テントウムシの中では、最大 12mm けっこう珍虫 また見つけたいと思います

3月の春の日 オオイヌノフグリの花とナナホシテントウ



ホトケノザ



ナズナ（ぺんぺん草）



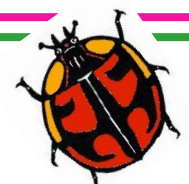
園の4月の花 さくらの花（ソメイヨシノ）古木の桜としての魅力があります 2022年4月1日の朝

明德幼稚園の園児が自然とつながるきっかけになることを願って、園や公園で見つけた自然通信を作りました。テントウムシは、園児にとって身近なアイドル虫だと思います。冬の間は、成虫の姿で越冬し、3月になって春の野草にアブラムシを食べにやって来ます。だから「春の訪れを告げる虫」とも言われます。日本には190種ものテントウムシがいます。

テントウムシの食性は、肉食性・草食性・菌食性に分かれます。ナナホシテントウは、肉食性です。テントウムシのやって来る春の野草の代表といえるオオイヌノフグリ・ホトケノザ・ナズナは、小さいけれど美しい花です。野の花の茎の先から、太陽に向けて飛び立つので、天道（太陽）虫という名前がつけました。見つけたらぜひ手のひらにのせて見てください。絵に描くとかわいいキャラクターになります。じいじやばあばと「てんとう虫のサンバ」を歌っても楽しいですね。おすすめの絵本は、「テントウムシとむしたち 得田之久」です。親子で絵を見ながら話し合っ、読むといいです。 岩倉図書館には、この本があります。

明德幼稚園や公園で見つけた自然通信

2022年3・4月号 岩倉自然学習ボランティア 村上 幹夫



カメノコテントウ